

10款 5項 1目 社会教育総務費

社会教育振興事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 279 ページ

予算現額	5,003,000 円		決算額	3,624,122 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,378,878 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			5,814,020 円	地 方 債	
	増減額			△2,189,898 円	そ の 他	
	増減率	△37.67%	一 般 財 源	3,624,122 円		

<目的>

社会の要請や地域住民のニーズに対して、学習の機会や場を提供し、社会教育の充実を図ります。

<内容>

社会教育の振興を図るため、学習機会の提供とともに、社会教育事業を主体的に行う関係団体を支援し、社会教育活動の促進を図ります。

<実績・成果等>

1 ジュニアリーダー養成事業の開催

狭山市子ども会育成会連絡協議会との共催により、レクリエーションの指導技術等の講習会を開催しました。

事業名	期 間	回 数	会 場
狭山市ジュニアリーダー ズクラブ講習会	令和2年10月11日～ 令和3年2月	5 回	入曽地域交流センター、 入間川小学校ほか

2 平和推進事業の開催

市民に広く平和について考える機会を提供し、平和に関する意識の高揚を図るため、入曽地域交流センターを会場に平和祈念講演会を開催しました。

内 容	期 日	参加人数
平和祈念講演会 講演：「広島での原爆体験」 語り部：中島 寿々江 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、人数を 制限して開催	令和2年12月5日	30人

3 現代的課題等の講座の開催

地域活動につながる人材育成を視点において、現代的課題である環境問題をテーマに、公民館や関係団体等と連携して「環境にやさしいライフスタイル講座」を実施しました。当講座は3回開催し、延べ63人の参加がありました。

4 子ども大学の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止しました。

5 社会教育関係団体の支援

社会教育関係団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

狭山市PTA連合会	151,578 円
狭山市子ども会育成会連絡協議会	93,472 円
狭山市地域文庫連絡会	33,417 円
狭山市立幼稚園PTA連合会	6,134 円
狭山市ボーイスカウト・ガールスカウト連合会	131,598 円

10款 5項 1目 社会教育総務費

生涯学習推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	7,444,000 円		決算額	2,986,332 円		
翌年度繰越額	2,000,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,457,668 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			7,049,818 円	地 方 債	
	増減額			△4,063,486 円	そ の 他	28,300 円
	増減率	△57.64%	一 般 財 源	2,958,032 円		

<目的>

誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びをとおして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会のなかで活かすことができるよう、生涯学習の充実を図ります。

<内容>

生涯学習に取り組む個人や団体の活動の促進や、生涯学習の成果を発表する機会や場の充実を図ります。また、生涯学習の充実に向けて、ICT 等各種の情報媒体を活用しながら、情報提供の充実を図ります。

<実績・成果等>

- 生涯学習ボランティア制度の充実
さまざまな経験や知識・技能を持ち社会参加に意欲のある人材を募集して、学習指導者として登録し、市民の学習の場での活用を通じて市民の学習活動の促進を図りました。本年度の登録者は126人、登録件数（指導分野）は157件となりました。
- 生涯学習まちづくり出前講座の推進
職員が地域に出向き、市の業務内容や取組みをわかりやすく説明する「生涯学習まちづくり出前講座」を開催しました。出前講座のメニュー講座とリクエスト講座を合わせて、151件、12,251人が受講しました。
- 生涯学習の場としての学校施設の開放
市民の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動の促進を図るため、入間川小学校の施設の一部（特別教室及び講堂）を開放しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開放を中止した期間がありましたが、延べ178団体、4,509人の利用がありました。
- 生涯学習情報コーナーの運営
生涯学習に関する情報提供や市民からの問合せ及び相談に総合的に応じる窓口として、生涯学習情報コーナーを、さやま生涯学習をすすめる市民の会に委託して運営を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、コーナーを休所した期間がありましたが、212日間開所し、5,793人の利用がありました。
- 地域ポータルサイトにおける生涯学習関連情報の提供
地域ポータルサイト「さやマルシェ」内の『さやまなびいネット』にて、市内公民館や小・中学校開放体育館等で活動しているサークル情報などを提供し、月平均10,761件のアクセスがありました。
- 市民文化祭
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため市民文化祭としての開催は中止しました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

人権施策推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	1,027,000 円		決算額	389,510 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	637,490 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,046,546 円	地 方 債	
	増減額			△657,036 円	そ の 他	
	増減率	△62.78%	一 般 財 源	389,510 円		

<目的>

同和問題をはじめとする様々な人権問題の正しい理解と認識を深め、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない明るい地域社会の実現を目指します。

<内容>

同和問題、女性、子供、高齢者、障害者、外国人などに関わる様々な人権問題に対する意識の高揚を図るため、学校教育、社会教育、企業、行政などのあらゆる場において、人権教育を推進します。

<実績・成果等>

1 人権教育研修会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年よりも研修会の開催回数を減らして、学校教育関係者や社会教育関係者などで構成される狭山市人権教育推進協議会との共催により、人権教育研修会を開催しました。

事業名 (会場)	期 日	内 容	参加者数
第1回人権教育研修会 (市民会館)	令和2年11月13日	講演会「暮らしの中の人権感覚」	115人
第2回人権教育研修会 (市民会館)	令和2年12月11日	講演会「同じ目線で思い合う人権を心の中に～地域の親子育て支援にぬくもりを～」	117人

2 人権教育実践事例の記録冊子の作成

小・中学校、公民館における人権教育の実践事例を冊子にまとめ、市内の学校や社会教育施設などに配付しました。

3 市内企業への人権啓発資料の送付

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講座形式での研修会を中止し、代替として市内企業348社に人権啓発資料を送付しました。

10款 5項 2目 文化財保護費

文化財保護事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	3,455,000 円		決算額	1,987,093 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,467,907 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			4,987,319 円	地 方 債	
	増減額			△3,000,226 円	そ の 他	
	増減率	△60.16%	一 般 財 源	1,987,093 円		

<目的>

郷土の歴史や文化を理解し、文化財愛護意識の高揚を図ります。

<内容>

貴重な文化財を後世に残すため、指定文化財の所有者や民俗芸能の保持者などを支援するとともに、民俗芸能の保存・継承に取り組む民俗芸能等の団体の活動を支援します。

<実績・成果等>

1 指定文化財等の管理業務を次のとおり実施しました。

事業名	実施内容
県指定史跡七曲井除草管理業務ほか9事業	除草、樹木選定等 53回

2 指定文化財等の管理事業を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
廣瀬神社の大ケヤキ樹勢回復事業	100,000 円	土壌改良及び施肥
広瀬囃子保存会木彫り面修繕事業	47,300	木彫り面の修繕
清水八幡修繕事業	282,000	清水八幡の修繕

3 民俗芸能等の団体の後継者育成事業を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
狭山市民俗芸能祭囃子後継者育成事業	30,000 円	囃子練習・上演
柏原祇園囃子後継者育成事業	30,000	子供会員を対象に練習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、4 団体が後継者育成事業を中止しました。

4 普及啓発事業を次のとおり実施しました。

事業名	開催回数	参加人数
出前講座	1 回	45 人
学校講座	1	89

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、普及啓発事業の開催が大幅減となりました。このほか、文化財防火デー啓発資料の作成・配布、狭山市文化財 web 講演会の配信を実施しました。

10款 5項 2目 文化財保護費

文化財発掘調査事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	33,657,000 円		決算額	28,231,478 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	1,040,000 円
不 用 額	5,425,522 円			県 支 出 金	520,000 円
前 年 度 比 較	決算額	41,490,800 円	決算額の 財源内訳	地 方 債	
	増減額	△13,259,322 円		そ の 他	18,016,574 円
	増減率	△31.96%		一 般 財 源	8,654,904 円

<目的>

開発等に際して、埋蔵文化財の確認調査を実施するとともに、発掘調査した埋蔵文化財を記録保存し、あわせて、公開することにより、埋蔵文化財を後世に伝えていきます。

<内容>

埋蔵文化財包蔵地における開発等に際して、事前に遺構確認調査を実施し、遺構が確認され、現状が保存できない場合には発掘調査を行い、その結果を記録保存するとともに、発掘した埋蔵文化財の展示等を通じ、市民への公開を進めます。

<実績・成果等>

1 各種開発行為に先立つ埋蔵文化財の調査

埋蔵文化財包蔵地内における確認調査（工事立会いを含む）を43件（対象総面積34,480.38平方メートル）実施しました。また、埋蔵文化財発掘調査を2件実施しました。

埋蔵文化財発掘調査名	調 査 結 果
狭山工業団地拡張地区基盤整備事業発掘調査（鳥ノ上・小山ノ上・上双木遺跡）	奈良・平安時代掘立柱建物跡4棟、溝跡2条、土壇5基
笹井柏原線整備事業予定地内発掘調査（上広瀬上ノ原2次調査）	奈良・平安時代掘立柱建物跡2棟、遺物包含層1カ所

2 出土品の整理

文化財センター内で出土品の復元、実測等の整理作業を行いました。

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 285 ページ

予算現額	9,326,000 円		決算額	8,789,243 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	536,757 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			7,808,973 円	地 方 債	
	増減額			980,270 円	そ の 他	547,230 円
	増減率	12.55%	一 般 財 源	8,242,013 円		

<目的>

施設の管理運営の充実を通して、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図ります。

<内容>

集会所を住民の集会その他の公共的利用に供する施設として、様々なニーズに応えられるよう施設の管理運営の充実を図ります。併せて、事業参加者・利用者相互の交流にも努めます。

<実績・成果等>

利用状況 開所日数 188 日

区 分	件 数	人 数
同 和 団 体	3 件	57 人
官 公 署	6	54
公 共 団 体	87	895
社会教育関係団体 (免除団体)	18	92
社会教育関係団体 (有料団体)	964	8,222
合 計	1,078	9,320

令和2年3月2日から6月18日まで、及び令和3年1月8日から3月21日まで、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、臨時休所しました。

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所講座等運営事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 287 ページ

予算現額	1,011,000 円		決算額	150,422 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	860,578 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			673,022 円	地 方 債	
	増減額			△522,600 円	そ の 他	
	増減率	△77.65%	一 般 財 源	150,422 円		

<目的>

主催事業等を通して集会所運営の基本理念であるすべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、問題解決に資することができるよう人権教育の充実を図ります。

<内容>

人権学習の今日的課題である「女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・外国人・その他の人権」についての人権教育の充実を図ります。

<実績・成果等>

1 主催事業の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、主催事業の開催が大幅減となりました。

種 別	内 容	講 座 数	回 数	延べ人数
人権啓発	成人一般人権セミナー	講座 1	3 回	82 人
青 少 年	小学生ふれあい教室	1	5	125
成人一般	地域ふれあい講座	1	2	13
合 計		3	10	220

10款 5項 4目 公民館費

公民館管理事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 287 ページ

予算現額	130,290,000 円		決算額	120,521,718 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	9,768,282 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	134,516,084 円		地 方 債	
	増減額	△13,994,366 円		そ の 他	6,272,715 円
	増減率	△10.40%	一 般 財 源	114,249,003 円	

<目的>

市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図ります。

<内容>

生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場や生涯学習の成果を発表する場としての利用に供します。

<実績・成果等>

利用状況

区 分	官 公 署		公共的団体 (内免除登録団体)		有料団体		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央公民館	371	7,237	299 (134)	2,805 (935)	3,734	32,757	4,404	42,799
富士見公民館	2	6	135 (42)	1,487 (388)	2,396	21,577	2,533	23,070
水野公民館	44	744	40 (0)	265 (0)	1,500	14,090	1,584	15,099
堀兼公民館	55	390	62 (0)	845 (0)	602	4,549	719	5,784
狭山台公民館	30	66	648 (100)	5,411 (995)	1,597	14,607	2,275	20,084
新狭山公民館	21	133	147 (11)	3,359 (135)	1,610	14,887	1,778	18,379
奥富公民館	19	572	280 (10)	6,237 (128)	900	9,227	1,199	16,036
柏原公民館	10	118	136 (25)	1,344 (375)	910	9,379	1,056	10,841
広瀬公民館	15	1,075	149 (19)	1,203 (179)	2,054	16,428	2,218	18,706
水富公民館	15	75	130 (0)	1,152 (0)	635	5,739	780	6,966
合 計	582	10,416	2,026 (341)	24,108 (3,135)	15,938	143,240	18,546	177,764

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年4月1日から6月18日まで及び令和3年1月9日から3月21日まで臨時休館しました。

10款 5項 4目 公民館費

公民館講座等運営事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 289 ページ

予算現額	4,172,000 円		決算額	1,996,878 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,175,122 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			4,214,327 円	地方債	
	増減額			△2,217,449 円	その他	
	増減率	△52.62%	一般財源	1,996,878 円		

<目的>

市民のニーズや社会的な要請を踏まえて、各種の講座等を開催し、これらを通じて市民学習活動の促進と、社会教育の拡充を図ります。

<内容>

生涯学習及び社会教育の拠点として、市民のニーズや社会的な要請をふまえた講座等を開催します。

<実績・成果等>

講座等の開催状況

公民館名	事業件数	延べ開催回数	延べ参加人数
中央公民館	7 件	100 回	1,053 人
富士見公民館	8	12	328
入曽公民館	2	2	28
水野公民館	8	23	298
堀兼公民館	14	130	2,218
狭山台公民館	16	34	922
新狭山公民館	8	54	293
奥富公民館	23	62	2,757
柏原公民館	13	31	2,326
広瀬公民館	8	24	1,605
水富公民館	18	40	2,056
合計	125	512	13,884

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染状況に応じて対面型の講座を休止し、その代替事業として、動画配信サービスを利用した講座や、資料を事前に配付する在宅講座などを実施しました。また、市民文化祭の代替事業として、各公民館の利用登録団体の作品展示や活動紹介を、館内や公式ホームページを利用して実施しました。

10款 5項 5目 図書館費

図書利用推進事業

(中央図書館)

決算事項別明細書 293 ページ

予算現額	154,931,000 円		決算額	150,039,283 円	
翌年度繰越額			決算額の 財源内訳	国庫支出金	
不 用 額	4,891,717 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	136,983,867 円		地 方 債	
	増減額	13,055,416 円		そ の 他	29,984,356 円
	増減率	9.53%	一 般 財 源	120,054,927 円	

<目的>

図書やその他必要な資料を収集・整理・保存し、広く市民の利用に供することにより、読書活動の推進や、市民の学習や調査活動を支援します。

<内容>

図書、雑誌や新聞等の資料の選定・購入、図書館サービスを提供するのに必要となる会計年度任用職員の雇用や図書館システムの借上げを行います。

<実績・成果等>

1 図書利用の推進

(1) 図書購入費	26,895,082 円	図書購入冊数	13,435 冊
うち 中央図書館	19,831,960 円	うち 中央図書館	9,214 冊
うち 狭山台図書館	7,063,122 円	うち 狭山台図書館	4,221 冊
視聴覚資料購入費	484,815 円	(DVD 35 点、CD 9 点)	

(2) 登録者数 151,390 人

(3) 利用実績

区 分	中央図書館	狭山台図書館	移動図書館	合 計	(内団体)
利用者数	127,226 人	32,127 人	3,540 人	162,893 人	(735) 団体
貸出数	385,714 点	106,000 点	10,854 点	502,568 点	(14,548) 点

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月3日(水)、及び令和3年1月11日(祝)～3月21日(日)の間、臨時休館とした。

(4) 資料区分ごとの貸出数

区 分	一般書	児童書	雑 誌	ビデオ	DVD	C D	カセット	DAISY※
貸出数	286,043 冊	179,999 冊	24,955 冊	54 点	4,826 点	6,491 点	200 点	0 点

※DAISYは、印刷物を読むのが困難な人々のために製作されたデジタル録音図書

(5) 児童奉仕

読み聞かせ 21 回

読み聞かせ講座 1 回

保健センター事業での講座 5 回

(読み聞かせを通じた親子のコミュニケーション、図書館案内、絵本紹介等)

新型コロナウイルス感染症対策事業

① お楽しみパック事業(小・中学生向けおすすめ本を5冊セットにして貸出) 179 件貸出

② クリスマスお楽しみパック事業(幼児から小学1年生向け) 200 件貸出

③ 学童保育室等への団体貸出(要望に応じて司書が本を選定して提供) 36 回 1,785 冊

- (6) 学校連携
小学生向けの広報紙「よむぞうタイムズ」78号、79号、80号
中学生向けの広報紙「よむレンジャー」43号、44号、45号の発行
出前事業（ブックトーク）の実施 小学校 15学級、対象429人、貸出1,134冊
出前事業（図書館利用教育）の実施 小学校 4学級、対象129人
図書の団体貸出 76回、2,300冊
小中学生向けの図書館選定図書「よむぞうスクールパック」の貸出 2回
図書館訪問等の受入 小学校 9校 607人
図書館見学館内案内DVDの作成・貸出 小学校 14校 18回
※新型コロナウイルス感染症対策として作成

2 その他

- (1) 市民文芸「さやま」25号 400部刊行（応募者数 95人、応募作品数 396点）
(2) 視聴覚教材・教具貸出 9点（うち16ミリフィルム7点）、視聴者 105人
(3) その他の奉仕活動
レファレンス 5,624件 資料コピー 5,908枚
リクエスト 78,060件
(4) インターネット上に無料で公開されている電子書籍のリンク集を図書館HPで情報提供
(5) 図書除菌機及びセルフ貸出システムの導入

10款 5項 6目 博物館費

博物館管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 293 ページ

予算現額	78,304,000円		決算額	78,183,200円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	120,800円			県支出金		
前年度 比較	決算額			73,734,244円	地方債	
	増減額			4,448,956円	その他	
	増減率	6.03%	一般財源	78,183,200円		

<目的>

施設の維持管理及び資料の保管を行います。また、当市の歴史・文化・自然等に対する興味、関心を得られるような企画展・講座を開催し、郷土狭山に関する学習活動の促進を図ります。

<内容>

常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗などを通史的に展示するほか、博物館をより身近なものとするため、企画展とともに講座や体験学習を開催します。

企画展は、「狭山らしさ」を踏まえ、当市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちの博物館への興味や関心を深めるもの及び独自性に富んだものを基軸として開催します。

<実績・成果等>

指定管理者制度の導入により、平成27年4月1日から指定管理者が管理運営を行っています。利用状況と事業の実施状況は次のとおりです。なお、令和2年3月2日から6月15日まで、及び令和3年1月9日から3月21日まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、臨時休館しました。

1 入館の状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	0 ^日	0	13	27	27	27	27	26	23	4	0	8	182
入館者数	0 ^人	0	821	1,692	2,212	860	1,760	2,321	704	101	0	674	11,145

2 企画展

事業名	開催期間	日数	観覧者数
田中雅美写真展	6月16日～8月30日	67 ^日	4,725 ^人
私たちの災害サバイバル展	9月26日～11月29日	57	4,343
収蔵品展入間川商店街	12月19日～3月31日	19	1,037

3 各種講座等

事業名	参加者数
企画展関連事業 夏のまいまい体験講座ほか8事業	1,006 ^人
古文書読解講座中級編ほか15事業	2,176
Youtube 動画投稿事業	(再生回数) 6,683

10款 6項 2目 学校保健費

公立学校保健事業

(学務課)

決算事項別明細書 295 ページ

予算現額	61,875,000 円		決算額	58,891,893 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	2,983,107 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	58,217,035 円		地方債	
	増減額	674,858 円		その他	4,042,325 円
	増減率	1.16%		一般財源	54,849,568 円

<目的>

健康診断等を通じて、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員の心身の健康を保持します。

<内容>

学校保健安全法に基づき園児・児童・生徒・小中学校教職員を対象に健（検）診を実施し、学校環境衛生基準に基づき学校環境衛生検査を実施します。

園児・児童・生徒を対象として、学校管理下の怪我などの災害に対し、災害共済給付(医療費、障害見舞金または死亡見舞金)を行うため災害共済給付制度に加入します。

<実績・成果等>

1 健康診断

学校医等の協力により、園児・児童・生徒の健康診断と学校環境衛生検査を実施しました。

区分	校(園)数	内科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	歯科医	薬剤師
幼稚園	2 園	2 人	— 人	— 人	2 人	2 人
小学校	15 校	17	15	15	23	15
中学校	8 校	10	8	8	10	8

- 令和2年10月に、小学校に入学する就学児童1,059人を対象に健康診断を実施しました。
受診児数1,034人(受診率97.64パーセント) 未受診児25人(主な理由は転居や転居予定に伴う他市受診、特別支援学校への進級、海外滞在中、私立小学校入学。居所不明児はなし)
- 園児・児童・生徒を対象に尿検査を実施しました。
尿検査1次検査9,937人 2次検査358人 要精密検査(蛋白40人・糖3人・潜血25人)
- 児童・生徒の結核健康診断を全員に実施しました。
受診者数9,881人 結核対策委員会要検討者なし 直接撮影者18人 要精密検査者数0人
- 小学校1年生、中学校1年生及び前年度未受診者を対象に、心電図検査を実施しました。
受診者数2,108人 要精密検査者数38人
- 教職員健康診断を実施しました。
集団健診受診者数199人(要精密検査者数51人)
個別健診受診者数64人(要精密検査者数4人)
結核健康診断受診者数257人 胃検診受診者数12人

2 災害共済給付制度

園児・児童・生徒の学校管理下の災害に備え、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へ加入しました。※保護者負担金の調定額及び収入済額4,042,325円 ※金額は準要保護・要保護の控除後

区分	加入者数	共済掛金
一般児童生徒	8,724 人	8,156,005 円
要保護児童生徒	11	495
準要保護児童生徒	1,148	1,028,300
園児	116	33,060
前年度途中加入者	20	15,450
合計	10,019	9,233,310

10款 6項 3目 スポーツ振興費

市民スポーツ促進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 295 ページ

予算現額	5,315,000 円		決算額	2,206,477 円		
翌年度繰越額	2,000,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	1,108,523 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			8,741,723 円	地方債	
	増減額			△6,535,246 円	その他	86,742 円
	増減率	△74.76%	一般財源	2,119,735 円		

<目的>

スポーツに親しむことのできる場や機会の提供を通じて、市民のスポーツ活動の促進を図ります。

<内容>

市民のライフスタイルやニーズに応じて、各種スポーツ教室や行事を充実させ、また、ニュースポーツやウォーキングなどの気軽に楽しめるスポーツの普及を図ります。

<実績・成果等>

- 1 スポーツ教室等の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止となった）
 スポーツ教室は、16 種目 18 教室を企画、5 種目 6 教室を実施し、延べ 342 人の参加があり、スポーツ関連行事は、7 種目 8 事業を企画、実施はドッジビー大会の 1 事業となり 38 人の参加がありました。
 また、体育協会との共催事業のクロスカントリー in Sayama2020 は中止となりました。

(1) スポーツ教室

教室名	期 間	会 場	参加者数	延べ人数
かけっこ（親子）	9月（1日間）	元気プラザ	59 人	59
硬式テニス（初級から中級）	10月～11月（5日間）	智光山公園	20	93
剣道（初心者）	10月（5日間）	市民総合体育館	7	29
バドミントン（初心者②）	11月（4日間）	市民総合体育館	16	54
硬式テニス（初心者）	11月～12月（5日間）	智光山公園	12	52
ランニング	12月（1日間）	狭山稲荷山公園	55	55

※中止した教室：ゴルフ（初心者）・卓球（初心者）・子どもスポーツ体験・バドミントン（初心者①）・ボルダリング（親子）・マウンテンバイク体験（親子）・スポーツ吹き矢（初心者）・弓道（初心者）・体感を鍛えて健康増進・タグラグビー・ラクロス・ボウリング（親子）

(2) スポーツ関連行事

事 業	期 日	会 場 等	参加者数
ドッジビー大会	11月8日	市民総合体育館	38 人（4 チーム）

※中止した行事：壮年ソフトボール大会・さやま CITY ゴルフ大会（2 回実施予定）・日帰りトレッキング・スポーツ障害予防講習会・体力テスト会・健康ウォーキング

2 スポーツ推進委員の活動の促進

市主催等のスポーツ・レクリエーション事業への協力を得るとともに、スポーツ推進委員連絡協議会では、ニュースポーツの普及や地域スポーツの振興に取り組み、スポーツ推進委員の資質の向上を図りました。

スポーツ・レクリエーション事業への協力 2回 延べ25人
会議、委員会等 1回 延べ28人
各地区、他団体等からの要請事業 2回 3人
埼玉県・入間地区による会議・実技研修等 1回 2人

3 社会体育関係団体の支援

狭山市スポーツ推進委員連絡協議会	90,000円
狭山市レクリエーション協会	800,000円

4 市民体育祭の支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内全地区の市民体育祭は開催されませんでした。

10款 6項 3目 スポーツ振興費

競技スポーツ振興事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	5,154,000 円		決算額	4,871,852 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	282,148 円			県支出金	
前年度 比 較	決算額	4,754,456 円	一般財源	地方債	
	増減額	117,396 円		その他	
	増減率	2.47%			4,871,852 円

<目的>

競技団体のスポーツ活動を充実させるため、補助金を交付し、スポーツ団体の育成・支援を図ります。

<内容>

スポーツ団体の活動を支援することにより、組織の充実を図るとともに、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及を図ります。

<実績・成果等>

- 1 関係団体の支援

狭山市体育協会	3,700,000 円
狭山市スポーツ少年団	684,000 円

- 2 市内企業スポーツチームの支援
 - (1) Honda 硬式野球部 都市対抗野球大会出場・優勝 (大会期間：11月22日から12月3日)
 - 狭山市駅東西連絡通路・市庁舎 横断幕設置
 - 地域スポーツ施設 懸垂幕設置
 - 新狭山駅北口・南口ロータリー 看板設置
 - (2) Honda 陸上競技部 ニューイヤー駅伝出場 (大会日：令和3年元旦実施)
 - 狭山市駅東西連絡通路 横断幕設置
 - (3) サギノミヤ硬式野球部 都市対抗野球大会出場 (大会期間：11月22日から12月3日)
 - 市庁舎 横断幕設置

- 3 スポーツ団体との連携協定事業
 - (1) 埼玉西武ライオンズ
 - ・「小学校授業支援動画提供」(ベースボールチャレンジの動画提供)市内小学校15校
8月25日から提供開始
 - ・「レオ・ライナと楽しく遊ぼう」市内幼稚園1園
9月15日実施
 - (2) ちふれASエルフェン埼玉
 - 「狭山・飯能・日高3市協定締結記念マッチ」開催
 - 日時：令和2年10月17日(土)14時キックオフ
 - 場所：川越運動公園陸上競技場

10款 6項 4目 スポーツ施設費

市民総合体育館管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	62,052,000 円		決算額	61,871,650 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	180,350 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			61,793,618 円	地 方 債	
	増減額			78,032 円	そ の 他	
	増減率		0.13%	一 般 財 源	61,871,650 円	

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、市民総合体育館を市民の利用に供するとともに、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

<実績・成果等>

エアロビクスやヨガ等の教室を 24 教室開催し、延べ 4,118 人の参加がありました。

利用状況

開館日数	利 用 者 数			
	利用件数	利用人数	一 日 平 均	
			利用件数	利用人数
184日	20,046 件	99,257 人	108.95 件	539.44 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月1日から6月30日、令和3年1月9日から3月21日を臨時休館とした。

10款 6項 4目 スポーツ施設費

地域スポーツ施設管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	43,004,000 円		決算額	42,711,534 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	292,466 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	44,887,794 円		地 方 債	
	増減額	△2,176,260 円		そ の 他	
	増減率	△4.85%	一 般 財 源	42,711,534 円	

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、地域スポーツ施設を市民の利用に供するとともに、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

<実績・成果等>

親子体操やヨガ等の教室を 10 教室及び、ラウンドフィットネス（通年）を開催し、延べ 2,700 人の参加がありました。

利用状況

狭山台体育館	開館日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
	182 日	2,704 件	23,694 人	14.86 件	130.19 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 4 月 1 日から 6 月 30 日、令和 3 年 1 月 9 日から 3 月 21 日を臨時休館とした。

※狭山台プールについては、休止とした。

10款 6項 4目 スポーツ施設費

学校体育施設開放等事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	2,280,000円		決算額	1,921,948円	
翌年度繰越額				国庫支出金	
不 用 額	358,052円		特定 財源	県支出金	
前年度 比 較	決算額	1,280,300円		地方債	
	増減額	641,648円		その他	
	増減率	50.12%		一 般 財 源	1,921,948円

<目的>

小・中学校の体育館等の開放を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

小・中学校の体育館等について、学校教育に支障のない範囲でスポーツ団体に開放します。また、入曾運動広場の管理は委託により実施します。

<実績・成果等> 利用状況

学 校 名	利 用 日 数	利用登録団体数	延べ利用者数
入間川東小学校	72日	9団体	1,039人
富士見	121	15	4,084
南	124	19	6,166
山王	15	1	125
入間野	119	12	2,787
御狩場	106	11	4,131
堀兼	66	7	1,407
狭山台	132	14	3,977
新狭山	58	7	1,651
奥富	90	9	2,540(73)
柏原	95	8	2,153
広瀬	100	11	2,113(208)
笹井	84	9	1,210
水富	76	3	971(262)
中央中学校	70	7	1,156
入間川	83	4	998
山王	53	4	655
入間野	107	7	2,651
堀兼	91	6	1,129
西	106	17	3,281
柏原	78	6	1,006
狭山台	63	6	775
合 計	1,909	192	46,548

※利用登録団体数は、令和3年3月末の値。()は笹井小学校体育館工事による振替分の外数。

入曾運動広場	利用日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
	278日	841件	30,551人	3.03件	109.90人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月1日から6月8日まで利用中止とした。

10款 6項 4目 スポーツ施設費

スポーツ施設整備推進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 299 ページ

予算現額	286,075,000 円		決算額	141,089,808 円		
翌年度繰越額	144,453,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	28,740,000 円	
不 用 額	532,192 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			30,316,494 円	地 方 債	35,800,000 円
	増減額			110,773,314 円	そ の 他	60,000,000 円
	増減率	365.39%	一 般 財 源	16,549,808 円		

<目的>

市民ニーズに合わせた施設整備の推進を図ります。

<内容>

武道館の整備に関する基本方針に基づき、新たな武道館を整備します。

<実績・成果等>

1 武道館整備事業

- (1) 建築工事・機械設備工事・電気設備工事等について、2カ年に渡る工事に着手し、令和2年度は地盤改良工事及び基礎工事を実施しました。

武道館整備工事費 136,516,392 円

- (2) 武道館整備工事場所の周辺の家屋に対し、工事の影響による家屋の損傷等の有無を調査するため、着工前に、建物調査を行う事前建物調査業務を実施しました。

家屋調査委託料 2,970,000 円

- (3) 建築工事に伴い、工事敷地内に埋設されている既設水道管を止める工事とともに、配給水管を布設する配給水管仮設工事を実施しました。

水道事業負担金 1,510,000 円

10款 6項 5目 学校給食センター費

給食センター管理事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 299 ページ

予算現額	245,295,000 円		決算額	244,271,417 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	3,588,000 円	
不 用 額	1,023,583 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			231,422,317 円	地 方 債	
	増減額			12,849,100 円	そ の 他	9,683,000 円
	増減率	5.55%	一 般 財 源	231,000,417 円		

<目的>

児童生徒に安全でおいしい給食を提供します。

<内容>

PFI 方式で更新した入間川学校給食センター、柏原学校給食センター及び堀兼学校給食センターの施設を割賦により取得します。

<実績・成果等>

学校給食の施設管理として、各センター施設内外の定期的清掃・消毒はもとより、薬剤師による衛生検査、給食業務に携わる全従業員の定期的な保菌検査を実施しました。

また、入間川、柏原学校給食センターについては、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(142,608,175 円)

堀兼学校給食センターについても、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(75,730,597 円)

10款 6項 5目 学校給食センター費

学校給食事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 301 ページ

予算現額	540,888,000 円		決算額	527,392,502 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	13,495,498 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			517,408,849 円	地 方 債	
	増減額			9,983,653 円	そ の 他	
	増減率	1.93%	一 般 財 源	527,392,502 円		

<目的>

児童生徒に安全かつ安心な給食を提供します。

<内容>

学校給食衛生管理基準に基づき、給食を調理し、安全でおいしい給食を児童生徒に提供します。アレルギーについては、適切に対応した給食を調理し提供します。また、栄養士等による食育の充実に取り組みます。

<実績・成果等>

安全安心な学校給食を提供するため、下記のとおり実施しました。

1 給食実施状況

- (1) 給食の実施回数 小学校 172 回、中学校 173 回
- (2) 給食の提供人員 小学校 15 校 7,023 人、中学校 8 校 3,617 人
- (3) アレルギー対応食提供人員 小学校 56 人、中学校 10 人

2 栄養指導の実施状況

小学校 7 校 55 時間
 中学校 2 校 22 時間
 教員（学校保健委員会）2 回